

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛 先) 京 都 市 長	令和5年 7月 3日
住所 (法人にあっては、主たる事務所の所在地) 京都府木津川市州見台6-5-1	氏名 (法人にあっては、名称及び代表者の氏名) タツタ電線株式会社 代表取締役社長 山田 宏也
京都市地球温暖化対策条例第32条第2項の規定により報告します。	
環 境 マ ネ ジ メ ン ト シ ス テ ム の 名 称	ISO 14001:2015
適 用 範 囲	電子材料、システム製品及びフォト製品の設計・開発及び製造
導 入 年 月 日	1999年 11月26日
認 証 番 号	JQA-EM0606
基 本 方 針	1. 経営理念を達成するために企業行動規範に則り、事業プロセスの改善、製品及びサービスの向上、環境保全の推進に対して継続的かつ適切に取り組みます。 2. ISO規格要求事項に基づいた品質・環境マネジメントシステムを構築、運用することで、適用される法令や顧客要求事項を守ります。他2点弊社HPに記載
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標 (以下「目標」という。)	①環境マネジメントシステムの運用 ②法順守 自主管理値の維持 ③生産設備、空調等に関するエネルギーの削減 ④廃棄物の削減、省資源・リサイクル・有価の推進 ⑤顧客ガイドラインにのっとりグリーン調達100%実施
目標を達成するための取組の内容	①監査、MRの実施。外部審査受審 ②環境届出の義務、記録。環境自主管理値の維持 ③省エネ活動の推進。空調機適正温度の設定、効率的な生産体制の構築 ④廃棄物処分の適正化。廃棄→有価化 ⑤廃棄物のリサイクル・有価化 ⑥グリーン調達の実施 100%
目標を達成するための取組の進捗状況	①内部監査・・・2,7月実施。 MR・・・一次9月、二次10月実施済み。 ②P R T R法、マニフェスト発行数・・・報告済み。大気測定・・・済み ③省エネパトロール・・・実施中、空調機温度管理による電力量削減維持 ④排溶剤の再生利用化・・・実施中 ⑤廃フィルムと廃プラの一部の有価化・・・実施中 ⑥グリーン調達の実施・・・100%継続
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	①内部監査・・・計画どおり 7月 ②P R T R法、マニフェスト発行数報告・・・計画どおり報告。 大気測定結果報告・・・計画どおり報告 全て規制値以内 ③省エネパトロール実施・・・計画どおり ④排溶剤の再生利用化・・・計画どおり ⑤廃フィルムと廃プラの一部の有価化・・・計画どおり ⑥グリーン調達の実施・・・100%継続中 ※概ね目標は達成できたと評価する
事業活動に係る法令の遵守の状況	・環境自主管理値の維持 (大気、水質、騒音) ・環境届出の義務 (P R T R法、CO2排出量、マニフェスト発行状況届出済み) ※関連法規の順守状況は、良好でありこれまで違反、行政当局から指摘はなかった。
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	2015年度版の認証は取得済み 電力事情の改善は当分見込めず、一層の省エネに取り組む。廃棄物の分別強化や、優良企業へのシフトにより環境負荷および処理リスクを低減していく。

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。